

# 収束する「に」、進化する「へ」

杉村 泰

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

sugimura@lang.nagoya-u.ac.jp

## 1. はじめに

一般に格助詞「へ」は 方向 を表し、 着点 を表す「に」と置き換えが可能であるとされている。(逆は可とは限らない)

- (1) 太郎は東京 {に/へ} 行く。
- (2) 太郎は東京 {に/\*へ} いる。

しかし、杉村(2004c, d)で行った「格助詞穴埋めテスト」の結果からも分かるように、「に」と「へ」には一定の使い分けがあると考えられる。

### 1. 「AがBに」構文

A (主体) が B (状態) に (なる)

例: 強力磁気ベルトが超薄型に! (日本直販「磁気腰ベルト」)

A (主体) が B (場所) に (存在する、到達する)

例: 宮崎アニメの原点がここに! (中京テレビ「未来少年コナン」)

### 2. 「AをBに」構文

A (対象) を B (場所) に (存在させる、到達させる)

例: ファブリックを中心に小物までを一堂に。(三越栄本店「初夏のレースフェア」)

A (対象) を B (状態) に (する)

例: ママをもっとオシャレに。(松坂屋本店「Mother's Day 5.11」)

### 3. 「AをBへ」構文

A (対象) を B (次の段階) へ (進化させる)

例: さらに、あなたを一步先へ。(日産自動車「プリメーラ」)

A (対象) を B (人) へ (伝える、届ける)

例: 4WD スポーツのよろこびを、すべての人へ。(スバル自動車「レガシィ B4」)

A (対象) を B (場所) へ (伝える、届ける)

例: 先端を日常へ (積水化学)

#### 4. 「AからBへ」構文

A（場所）から B（場所）へ（移動する）

例：名古屋から東北・北海道へ。（太平洋フェリー）

A（状態）から B（状態）へ（変化する）

例：焼畑農業から稲作農業へ。（コスモ石油）

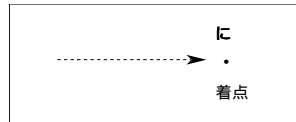


図1 「に」のイメージ

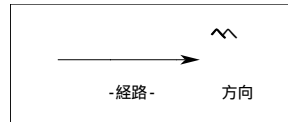


図2 「へ」のイメージ

#### 2. 「に」のイメージ

(3) 2つのカードが1枚に！！（UFJカード）

(4) ぜ～んぶをお隣さんに。（KDDI）

(5) 夢をカタチに。 夢がカタチに。（電波学園）



図3 UFJカードのパンフレット



図4 KDDIの新聞広告



図5 電波学園のポスター



図6 同左（部分）

3. 「へ」のイメージ

(6) わたしたちから、次の私たちへ。(日本生命)



図7 日本生命の雑誌広告

(7) 世界は  から  へ。(松下電器「DVDレコーダー ディガ」)

(8) 呼出し音は、「ブルルル…」から「 …」へ。(NTT DoCoMo「メロディコール」)



図8 松下電器のポスター



図9 NTT DoCoMo のステッカー

(9) その油断 火から炎へ 災へ(2003年度 全国統一防火標語)



図10 日本損害保険協会のポスター



図11 防火普及協会のポスター

#### 4. 収束する「に」、進化する「へ」

- (10) 4週間で79.0kg>74.3kgに！（マガジンハウス『an・an』2004.1.14）  
(11) ビール市場におけるシェア 48.9 %へ。(アサヒビール)

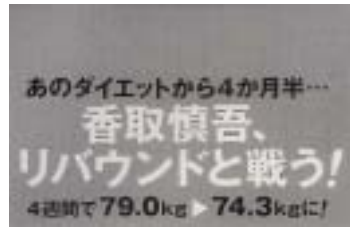


図 12 マガジンハウスの車内広告（部分）



図 13 アサヒビールの新聞広告

- (12) サティ・ビブレは、イオンとひとつのグループに。(サティ・ビブレ、イオン)  
(13) 今日から、Pasco へ。(敷島製パン「ブランド名変更」)



図 14 マイカルの新聞広告



図 15 敷島製パンの新聞広告

#### 参考文献

杉村 泰 (2004a) 「格助詞「へ」に見る近未来都市」『言語文化研究叢書』3 pp.49-64、名古屋大学大学院国際言語文化研究科

(2004b) 「広告コピーに見る格助詞「へ」の用法について シキシマは、Pasco へ、J-フォンは、ボーダフォンへ」『言葉と文化』第5号 pp.181-194、名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻

(2004c) 「彼女が待ってる新宿( ) 恋する切符 5,100 円」格助詞「に」と「へ」のイメージ、」記念論文集編集委員会(編)『平井勝利教授退官記念 中国学・日本語学論文集』pp.524-542、白帝社

(2004d) 「格助詞で終わる広告コピーに見る「に」と「へ」の使い分け」『名古屋大学言語文化論集』第26巻第1号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科(印刷中)